

ライオングループ サプライヤーCSRガイドライン

1	人権・労働	強制労働・児童労働の禁止	強制労働及び法令で定められた最低就業年齢に満たない児童の労働を禁止している
2		差別の禁止	人権を尊重し、過酷で非人道的な扱い及び差別を禁止している
3		適切な賃金及び労働時間	法令で定められた限度を超えないように労働時間が管理され、適切に賃金が支払われている
4		従業員による交渉の自由	労働組合を組織する自由や交渉の権利を保証している
5		職場の安全衛生	機械装置の安全対策など、職場の安全衛生を確保している
6		労働災害及び労働疾病	業務上の災害及び疾病の状況を把握し、予防するための対策を行っている
7		施設の安全衛生	施設(食堂・寮・トイレなど)の安全衛生を確保している
8		従業員の健康管理	従業員の健康を適切に管理している
9	環境	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを構築し、適切に運用している
10		化学物質の管理	法令に基づき製造工程や製品に関わる化学物質を適切に管理している
11		環境への影響の最小化	事業による環境への影響を最小限にするよう努めている
12		環境許可証／行政認可	環境に関する法令等で定められた許認可を受け、必要に応じて報告している
13	公正な事業慣行	汚職・賄賂などの禁止	政治家及び公務員と正常な関係を保ち、贈賄・違法な献金などを行わない
14		優越的地位の乱用の禁止	優越的な地位を乱用せず、取引先と正常な関係を保つ
15		不適切な利益供与及び受領の禁止	取引先などからの、社会通念を超える利益の供与及び受領を禁止する
16		競争制限的行為の禁止	自由な競争を制限する行為を禁止し、公正で透明な取引を行う
17		知的財産の尊重	他社の知的財産権の侵害を禁止する
18	消費者課題	品質マネジメントシステム	品質マネジメントシステムを構築し、適切に運用している
19		情報セキュリティ	情報セキュリティを徹底し、個人情報及び機密情報を適切に管理・保護する
20	全体	コンプライアンス	法令等で定められた事項を遵守している
21		サプライチェーンでの取り組み	上記(1~20)の事項を含む社会的責任を、購買取引先にも求めている

サプライヤーCSRガイドラインの用語解説

#	用語	解説
1	強制労働	借金等の返済のための債務労働、人身売買の結果行われる奴隷労働、非人道的な囚人労働など、本人の意思に反して居住地や移動を制限(身分証明書の取り上げなど)することを含む、自らの意思によらない労働。
1	児童労働	義務教育を受ける権利が認められている年齢(15歳未満(途上国は14歳未満))に対して教育を受けることを妨げる労働、健康的な発達を妨げる労働、18歳未満の危険で有害な労働、子どもを搾取する労働。
2	差別	虐待・体罰・セクシャルハラスメント(性的嫌がらせ)・パワーハラスメント(暴言による嫌がらせや威圧的行為)などの非人道的な扱いや、人種・皮膚の色・性・宗教・政治的見解・国籍・社会的出身など、合理的でない要素によって、採用・昇進・報酬などの機会や処遇に差を設けること。
3	適切な賃金／労働時間	少なくとも法定の最低賃金を支払い、法定限度を超えないように労働時間を管理すること。
4	労働組合を組織する自由／団体交渉の権利の保証	報復・脅迫・嫌がらせなどを受けることなく労働組合を組織する自由、法令に従い労働組合に加入する自由、抗議行動を行う自由、労働者評議会などに加わる自由などを保証すること。
5	機械装置の安全対策	フェイルセーフ・インターロックなどの安全機構の採用や、防護壁等の設置、定期的な検査とメンテナンスを実施すること。
6	労働災害／労働疾病	火気・乗り物・電気その他のエネルギーなどにより、就業中に発生する事故や健康障害。
7	施設	食堂・寮・トイレの他、水飲み場・ロッカールームなど、職場外で従業員に提供されるもの。
8	健康管理	法令に定める水準において、健康診断などを実施すること。また過重労働による健康障害の防止や、メンタルヘルスケア、妊娠中または出産後の健康にも配慮する必要がある。
9	環境マネジメントシステム	ISO14001など、環境活動を推進するための管理の仕組み。組織体制・計画的活動・責任分担・慣行・手順・プロセス・経営資源などを含んだもので、方針や計画の策定・実施・見直し・維持というPDCAサイクルにより継続的改善が図られるシステム。
10	化学物質	法令等で含有禁止に指定されている、あるいは報告を義務化されている化学物質。
11	環境への影響の最小化	排気・排水・汚泥・廃棄などの監視方法、制御方法、処置方法の改善などにより、流出量の削減に取り組むこと。温室効果ガスの削減、省エネルギー、生物多様性保全、水使用量の削減、廃棄物の削減、資源利用などの取り組みや、環境に配慮した製品・技術の開発推進も含む。
12	環境に関する許認可	公害防止管理者などの管理者の設置義務、行政への届出義務など、法令で定められた環境に関する要求事項。
13	賄賂	公務員及びそれに準じる者に対し、業務上の見返りを求めた金品の提供・接待などを行うこと。
14	優越的な地位の乱用	購入者や委託者という立場を利用して、仕入先等との取引条件を一方的に決定・変更したり、不合理な要求や義務を課したりすること。
15	不適切な利益供与	法令や社会的儀礼の範囲を超えた、金品の提供や接待を行うこと。反社会的勢力への利益供与や、インサイダー取引も含む。
16	競争制限的行為	同業他社と、製品・サービスの価格、量、販売地域について申し合わせるカルテルや、入札者間で価格の取り決めを行う入札談合など。また、他社製品に関する虚偽の表示をすることも含む。
17	知的財産権	特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、営業秘密など。知的財産権の侵害とは、著作物の違法な複製、営業秘密の違法な入手・使用など。
18	品質マネジメントシステム	ISO9001など、品質管理活動を推進するための管理の仕組み。組織体制・計画的活動・責任分担・慣行・手順・プロセス・経営資源などを含んだもので、方針や計画の策定・実施・見直し・維持というPDCAサイクルにより継続的改善が図られるシステム。
19	情報セキュリティ	ウイルスやスパイウェアなど、コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対する防御策を徹底し、社内外に影響を与えないように管理すること。 また、特定の個人の識別を可能にする情報や、機密情報が不正又は不当に取得・利用・開示・漏洩しないよう、管理の仕組みを構築し運用することも含む。
20	コンプライアンス	法令等で定められた自社に適用される事項を把握し、遵守していること。
21	サプライチェーン	顧客に商品やサービスが原料の段階から届けられるまでの全プロセス(開発・調達・製造・配送・販売・消費・リサイクル等)のつながりに関わる一連の活動および関係者をいう。 また、サプライチェーンを統合的に管理するための経営手法をサプライチェーンマネジメントという。